



【となりびと】ドイツ人ボランティア



10日から2週間の予定で、ドイツ・ブランシュバイクのルーテル教会からDavidさんがボランティアのため来仙しました。



仙台に入る前には、被災地を自分の目で見るということで、少し不安があったそうです。それまではテレビでしか見たことがなかったのですが、やはり実際の被災地はそれとはまったく違っていたと言っていました。2年もたつのに、まだまだやらなければならないことがいっぱいあるような被災地の光景に驚いたようでした。気仙沼のコミュニティーセンターの再建ワークショップで、初めての



建築作業を体験。仮設でのプログラムでは、つるしびな作りや牡蛎焼きを体験しました。その他、ファミリーホームの訪問や、石巻市内の学童保育所訪問など、初めてづくしの2週間でした。日本語上手な訪問者は、どこに行っても人気者でした。本人も「とても貴重な経験になりました。少しでも何かの役に立てたとしたら嬉しいです」と言っていました。

今回の支援活動においては、ドイツからも多額の支援金が寄せられていますので、ドイツに戻り、ぜひこの被災地での体験を広く伝えて欲しいです。

石巻市【仮設支援】つるしびな



3月の展示会に向けて、つるしびな作りはラストスパートの時期を迎えました。14日は仮設追波川河川団地で21日は仮設飯野川団地で、つるしびな作りが行なわれました。「せっかく顔なじみになったので、このまま終わってしまうのは寂しい」という声が上がっていました。18日には地元公民館に、三つの仮設団地と地域のボランティアの方が集い、仕上げをしました。



石巻市【仮設支援】みやぎ宅老連絡会



となりびとでは、みやぎ宅老連絡会が取り組んでいる石巻市河南地区の2ヶ所の仮設での支援活動のサポートをしています。6日、その2カ所の仮設で直面しているそれぞれの課題について、対策ミーティングが行なわれました。その日にボランティアとして来ていた(日福)湯河原教会の牧師にも



同行して頂いたところ、フラットな立場からの確かなアドバイスを頂き、今後につながる良い会合となりました。

石巻市【漁協支援】倉庫建設



石巻市の半島部で予定している倉庫再建支援の建設工事が始まりました。



21日に折浜・荻浜という2か所の建設現場を見に行きました。どちらも漁港の復旧はまだまだという状況です。荻浜では、沈下した船着き場を取り壊して新しい船着き場を作る作業が進んでいました。港には新しい船が泊まっていました。かさ上げ工事等、漁港の復旧をしながらの工事のため、だいぶ予定から遅れましたが、着工してひとまず安心しました。他の8カ所の建設も、早く着工するように祈っています。



石巻市【地域支援】にっこり手しごと村



石巻市北上町の仮設にっこりサンパーク団地で行なわれている”にっこり手しごと村”では、布ぞうりのわらじ作りの練習が進んでいます。まだ作り方を覚えていない人に伝授したり、ちょっとしたコツを教え合って、綺麗な仕上がりになるように、がんばっています。仮設の近くにある商店では、中学校の畑で仮設の方々が栽培している野菜が販売されています。安価で新鮮なので喜ばれているようです。



東日本大震災ルーテル教会救援 2013年2月活動概要

- | | |
|----------------|--|
| 1. 活動地域 | 宮城県(気仙沼市、石巻市、東松島市、登米市) 福島県(南相馬市) |
| 2. ボランティア受け入れ | 2月 2名(教会 2名/一般 0名) |
| 3. 物資支援の実績 | 2月 総数 3件 |
| 4. 仮設支援への実績 | お茶会 2月 2回開催(のべ18名)
つるしびな 2月 3回開催(のべ59名) |
| 5.被災地関連商品の販売実績 | 2月 0円(0件) |